

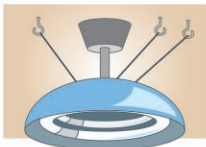
屋内の安全対策

地震で建物が倒壊しなくても、家具の転倒やガラスの飛散等により、大きなケガをしたり逃げ場をふさがれたりします。事前に家具などの固定や配置方法の工夫を行い、屋内の安全性を高めておきましょう。



■収納に工夫を

- タンスや本棚などにもものを入れる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにします。
- 本棚は隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。



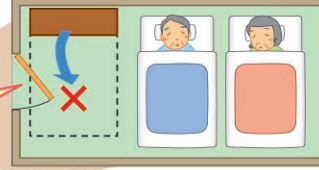
■照明器具の補強を

- 吊り下げ式蛍光灯は、チェーンなどで止めておきましょう。



■置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に転倒防止のビニール樹脂状のものを入れ、壁にもたれ気味にします。
- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように、配置の工夫を。



地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難経路をふさぐ位置に配置されていませんか？



■ガラスの飛散防止を

- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

■住宅用火災警報器、感震ブレーカーなどの防災機器を設置しよう

- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておきましょう。
- 電気やガスに起因する火災発生防止のため感震ブレーカーなどを設置しておきましょう。



■耐震金具を利用しよう

転倒防止金具

壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、床などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。



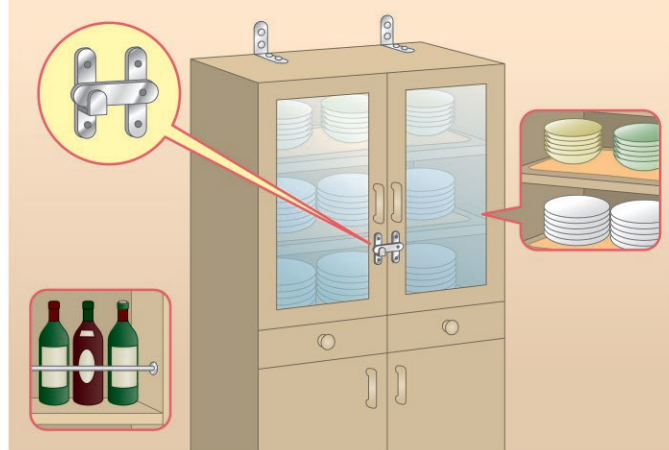
重ね留め用金具

重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。



扉・引き出し開放防止金具

地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきんを置いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止枠をつけると安心です。

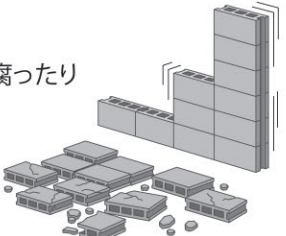


屋外の安全対策

事前に家の周りを点検し、屋外の安全性を高めておきましょう。

■壁・塀

- 壁や塀にひび割れなどがなく、腐ったりしていないか点検しましょう。
- ブロック塀は、地震の揺れにより崩れる可能性があるため、できれば安全な生垣などにしましょう。



■ガスボンベ

- ガスボンベは、動かないように壁等に固定しましょう。
- ガスボンベの周りには、物を置かないようにしましょう。



緊急地震速報を見聞きしたら

「緊急地震速報」は、最大震度が5弱以上と予想された場合に、震度4以上が予想される地域を対象に消防庁からのメール、報道機関からテレビ・ラジオなどを通じてみなさまに伝えられます。この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒～数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとる必要があります。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。



屋内では…

- 頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外へ飛び出さない。



屋外では…

- ブロック塀等の倒壊に注意する。
- 看板や割れたガラスの落下に注意し、建物のそばから離れる。



車の運転中は…

- あわててブレーキをかけない。
- ハザードランプを点灯し、路肩に寄せてゆっくり停止する。



山やがけ付近では…

- 落石やがけ崩れに注意する。



人が大勢いる施設では…

- 係員の指示に従う。
- 落ち着いて行動する。
- あわてて出口に走り出さない。



エレベーターでは…

- 全ての階のボタンを押して、停止した階で、すぐに降りる。

地震が起きたとき、とるべき行動

地震発生時には、あわてずに、まず身の安全を確保しましょう。

地震発生！ 自分の命は自分で守る

- 「頭を保護する」「大きな家具から離れる」「丈夫な机の下に隠れる」など、落ち着いて自分の身を守る。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。



1～5分 家族を守る

- 揺れが収まってから行動する。
- 家族の安全を確認する。
- 火の元を確認・初期消火。
- 足をケガしないように靴をはく。
- 非常持ち出し品を手元に用意する。
- 余震に注意。



5～10分 地域を守る

- 隣近所の安全を確認。
- 安全な場所に移動してから、防災無線やラジオなどで情報を確認する。
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める。
※復旧時の火災・事故を防ぐため
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する。



10分～数時間後 避難生活 助け合いの心で…

- 協力して消火・救出活動。
- 水・食料は備蓄品でまかなう。
- 災害情報、被害情報の収集。
- 壊れた家には入らない。
- 引き続き余震に注意。
- 避難所では集団生活のルールを守る。

